

事業名	学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成モデル事業費		担当課	部局	教育委員会事務局
				課・局・室	高校教育課
総合5か年計画	プロジェクト		実施期間	E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成		H28	～
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	4-2 信州創生を担う人材の確保・育成			
	施策展開	2-(3) 知の集積と教育の充実 イ 未来の信州を担う子供たちの教育の充実 (ア) 多様な教育の推進			

1 事業の概要

目指す姿	県内高校に「学校での学び」と「地域での実践的な働き」をコーディネートするデュアルシステムを構築し、産業界が求める人材の育成と地域の魅力を活かした活躍の場を創出することにより、個人の能力を活かし、産業を支える人材の定着を図っていく。					
現状 (予算編成時)	地域が、今後の変化の激しい社会に対応していくためには、確かな力を持った人材の地域への定着が必要である。この確かな力を育むために、「学び」によって「働き」の質を高め、「働く」ことで「学び」の必要性を認識できるような相乗的な営みを、生涯に渡って繰り返すことのできる人材育成モデルを形成していく必要がある。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法、産業教育振興法、長野県立高等学校管理規則				
	県民との協働による実施: 実施中					
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)					
	航空産業を始めとする成長産業、精密加工産業を始めとする基幹産業における人材育成を支援するため、県内4地区をモデルとして企業、高校、地域を中心とした協議会組織を立ち上げ、組織にそれぞれを連携するコーディネータを配置する。コーディネータは、「学び(学校)」と「働く(企業)」をコーディネートし、モデルとなる高校は生徒全員が参加するデュアルシステムを構築していく。また、将来的に地元企業への就職希望者の増加を目指し、地域の可能性を再発見させるため、普通高校に展開していく。モデル校卒業生の地元就職率:平成30年度までに5~10%アップ					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H28事業実績		H29
			(当初)	(決算)	(当初)	
	成長産業・基幹産業における人材育成	直接	協議会組織立ち上げ、コーディネータの配置、企業実習、試作品の製作、企業技術者・大学教授による指導、実習機器購入、課題研究発表会の開催、フィールドワークの実施	—	62,486	87,043
	地域の可能性を再発見する郷土人材育成	直接	ワークショップの開催、グループ企業・展開事業所視察、若者の地元定着率アップに向けた調査・研究	—	1,722	3,186
			合計	0	64,208	90,229

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越		0	項目	H26末	H27末	H28			H29目標				
		当初予算		0				90,229	目標	成果		達成状況			
		補正予算		66,302				モデル校卒業生の地元就職率	—	—		H27年度末実績から平均2.5ポイント増	H27年度末実績から平均5.5ポイント増	達成	H27年度末実績から平均で6.0ポイント増
		合計(A)	0	66,302								90,229			
	Aの財源	一般財源		33,151	32,115										
		県債		0	13,000										
		国庫支出金		33,151	45,114										
		その他	0	0	0										
	決算額(B)		64,208												
概算人件費	職員数(人)		1.00	1.00											
	概算人件費(C)	0	7,914	7,914											
	概算事業費(B(A)+C)	0	72,122	98,143											

目標に対する成果の状況	当初目標の平均2.5ポイントを大きく上回る結果であり、目標を達成したと考える。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 工業科高校だけでなく農業高校、商業高校にも事業を展開し、モデル高校とともに取組をさらに充実させていく。
--------------------	--